

- (1) 備後圏域創業促進事業**
- (2) 備後圏域ワインプロジェクト**
- (3) 農業の魅力創出・発信事業**
- (4) 看護職員確保対策事業**
- (5) 道の駅等のネットワーク化**
- (6) 備後圏域プロモーション事業**

人づくり	行政							産	学	金	民
地域資源	福	三	尾	府	世	神	笠	井			
行政サービス	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



備後圏域創業促進事業

めざす姿 創業プラットフォームが構築されるとともに、チャレンジしやすい地域として創業者が増える。

ロードマップ (2016～2019)



概要

- ・備後圏域の創業ネットワークを強化するためのFuku-Bizの拠点性の強化
- ・圏域内大学や民間企業と連携した創業しやすい環境の醸成・人材育成

創業プラットフォームの構築

拠点機能の強化

福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz

- ・売上向上、創業支援に重点を置いた、備後圏域の産業支援機関として2016年12月に開設
- ・質の高いマーケティング、デザイン、販路開拓、ブランディングなどを一貫して提案



実績 (2016.12～2017.11)	相談件数	満足度	売上向上率	創業件数
	1,760件	99.4%	60.0%	6件

拠点機能の強化

- 体験** ○チャレンジャーズマルシェ
・起業や集客拡大を目指すFuku-Bizの利用者を対象に商品のテスト販売の場を提供(2月6日～ エフピコRiM)
- 普及** ○出張相談
・連携市町の利用拡充に向け無料出張相談を実施
- 体制** ○創業支援スペシャルチーム
・先輩起業家をアドバイザーとしたチームを編成



環境整備

情報交換会・事業発表会

- ・創業を身近に感じられるきっかけづくり(創業を目指す人)
- ・事業拡大に向けた先輩創業者や支援機関からの助言の場(創業者)

コンテンツ製作

- ・事例発表会や身近な創業事例などの情報を発信(びんごライフHP, 冊子製作)

人材発掘・育成

圏域内大学生によるビジネスプラン作成

各大学の学生の主体による観光振興などにつながるビジネスプラン作成に向けたワークショップやエクスカージョン(体験型の野外調査)の開催・情報発信

起業家精神の育成・創業しやすい環境の醸成



起業支援のビジネススクール

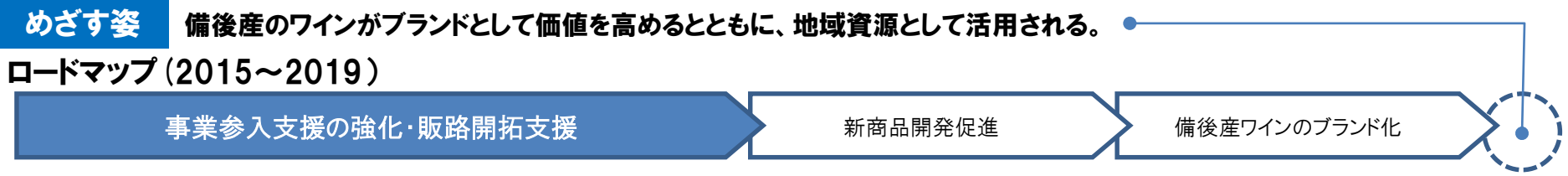
岡山イノベーションスクール(民間企業主催)

次世代を担う起業家や起業家精神を持った人材を発掘し、「起業」や「イノベーション」を通じて地域を活性化させていく本格ビジネススクール(4月～11月)

人づくり	行政								産	学	金	民
地域資源	福	三	尾	府	世	神	笠	井				
行政サービス	◎	○	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○



備後圏域ワインプロジェクト



概要

- ・特区の活用促進、事業参加のためのノウハウ等の共有
- ・事業者が活動しやすい取組を総合的に推進

1 ワンストップ窓口体制の構築

ワインを核とした地域活性化を実現するため、産学官民が一体となって、ワイン振興の機運の醸成等を行う、(仮称)備後福山ワイン振興協議会設立準備会を設立し、ワインやワイナリーについての総合的な相談窓口を設置した。

2 備後ワインフォーラムの開催

備後圏域のワイン関係事業者等が一堂に会し、基調講演やトークショー、パネルディスカッション等を行う、フォーラムを開催する。
 日 時:2018年3月17日(予定)
 場 所:福山市内

3 (仮称)ワインオーナークラブ調査・研究等事業

備後圏域でワイン作りに興味のある方が、ぶどう栽培から収穫体験、ワイン醸造の見学など、ワイン作りの喜びを味わえる仕組みづくりに向けた調査研究を行う。

4 ワイン列車

備後産のワイン等で楽しむワイン列車を開催。民間事業として継続的に取組むことを想定し、別枠での募集型企画旅行にて事業の運用について検証を行う。
 日 時:2018年3月24日(土)に井原鉄道で実施(予定)
 (神辺駅==三谷駅==井原駅==神辺駅)

※折り返し



【ワイン列車】

成果

- 【BINGOワインアカデミー】
- ・アンケート集計結果
 ワイン等の事業へ
 「取り組みたい・前向きに検討する」:約7割
 - ・特区の活用
 活用する予定:8名
 - ・参加者の声
 「実際の体験談を聞くことができ、勉強になりました。」
 「ワイナリーを立ち上げる予定です。」など
 - ・事業展開する中での課題等(参加者)
 「ぶどうの量の確保、販売価格の設定、販路等が課題。」
 「県外に在住のためネットワーク作りが不安。」など

課題

- ・関係機関の更なる連携による支援体制強化(技術や知識の習得支援 など)
- ・行政だけでなく、民間企業も含めた継続的な情報発信

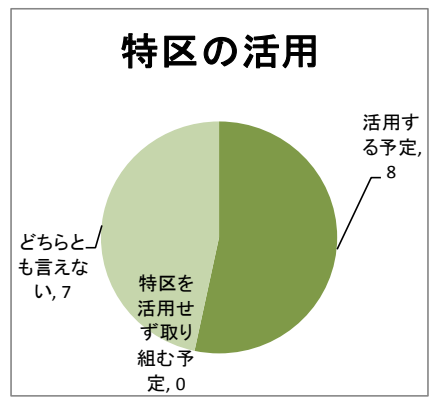
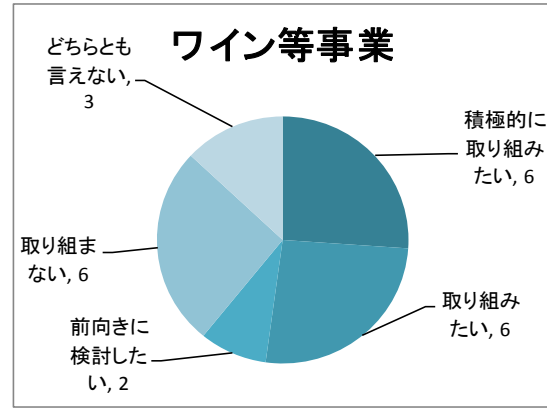
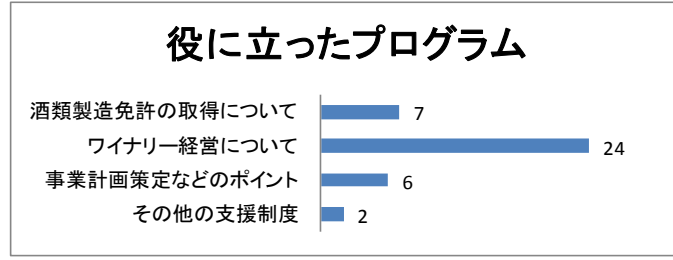
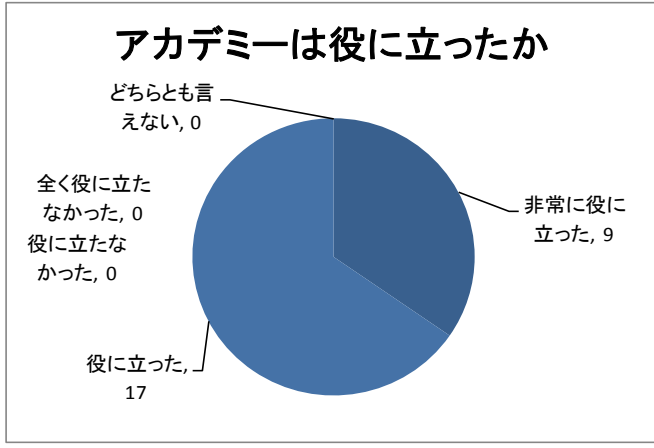
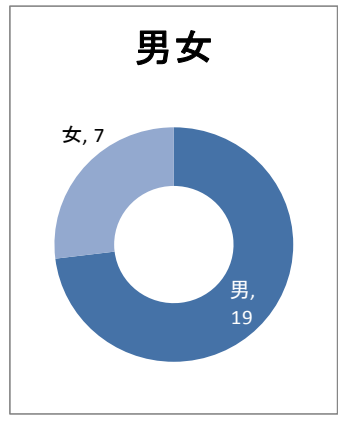
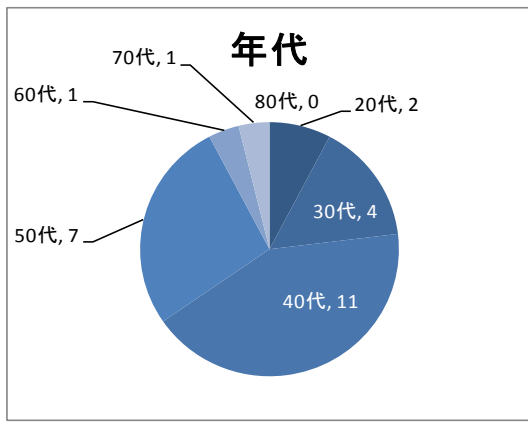
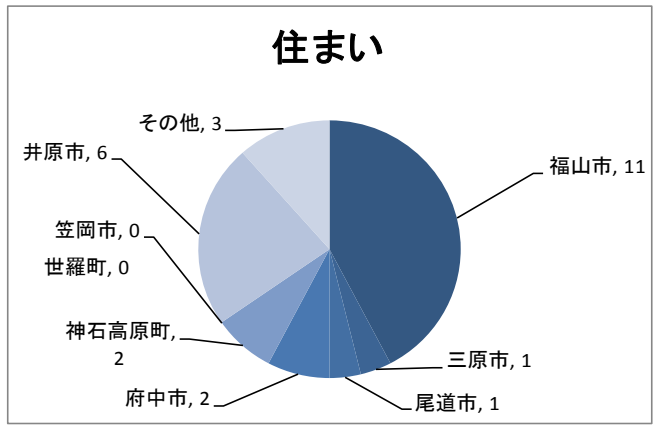
新年度の取組

- 産学金官民連携のもと、
- ・(仮称)備後福山ワイン振興協議会の移行を目指す
 - ・備後産ワインPRの強化(HP掲載やイベント出店)等
 - ・各種ワイン関連イベントの開催

■BINGOワインアカデミー(福山市)2017年 アンケート集計

開催日 2017年(平成29年)12月27日

参加者数 32名(アンケート回答26名) ※講師, 報道関係者を除く



【今後、事業を検討する中での課題、障壁となっている要素】

- ・個人で頑張るか、グループや地域の力を借りるか。
- ・ワイナリーの場所、物件探し。
- ・ワインの定温・適正湿度での保管を手伝うべく、倉庫の提供を進める。
- ・ぶどうの量の確保、販売価格の設定、販路
- ・県外にいるため人のネットワーク作りに不安がある。

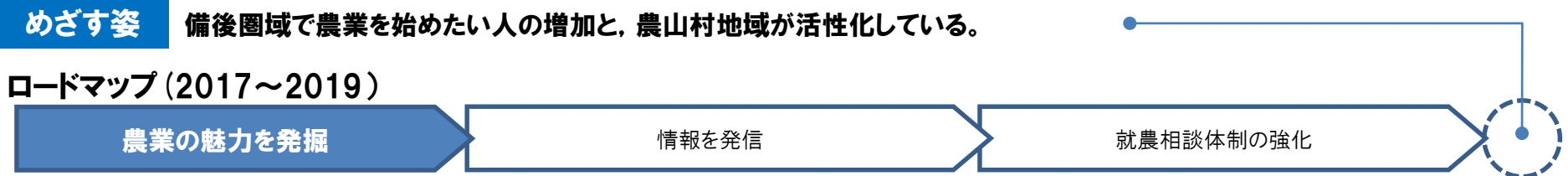
【知りたいこと】

- ・質問時間が少ない
- ・免許取得に関する費用について
- ・日本産ワインが今後海外ワインにとどの様に競争力を持って拡大していけるか



人づくり	行政							産	学	金	民
地域資源	福	三	尾	府	世	神	笠	井			
行政サービス	◎	○	○	○	◎	○	○	○			○

農業の魅力創出・発信事業 (担い手発掘事業)(世羅町農業体験)



ロードマップ(2017~2019)



概要

農業の魅力や就農支援情報を発信し、
就農希望者を発掘

1 せとうち農業ガイドブック(仮称)

【目的】
圏域内へのU・ターンを考え、就農に関心のある30~40代に対して、圏域の農業の魅力や就農支援情報を紹介する。

【掲載内容】
写真で見る備後の暮らし、農業人インタビュー、農産物の紹介、世羅町の農業体験レポート、各市町の就農支援情報 ほか

2 新・農業人フェア

大阪及び東京で開催される新・農業人フェアへ備後圏域として出展し、就農希望者の掘り起こしを行う。

【大阪会場】
日 時：2018年1月27日(土)
場 所：大阪マーチャンダイズマート
(実施結果)
相談者：4組6人
相談内容

- ・「ぶどう農家になりたいと思っているので話が聞きたい」という方に対して、福山市の就農支援制度(ぶどう研修)を説明。
- ・「トマトやぶどうの就農に興味がある」という方に対しては、神石高原町や井原市のブースと連携し、就農について説明。

<今後の予定>

【東京会場】
日 時：2018年2月10日(土)
場 所：池袋サンシャインシティ



成果

- ガイドブック
 - ・各市町の協力により、幅広く農業者や特色ある農産物の情報を収集することができた。
 - ・農業に強みを持つ世羅町と連携して農業体験レポートを作成し、掲載することができた。

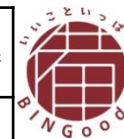
課題

- ・就農に関する情報を求めている人に対し、直接情報を届けるための仕組みを構築する
- ・継続的な就農に関する情報発信

新年度の取組

- 情報発信の強化
 - ・新・農業人フェアに参加し、就農希望者の掘り起こし
 - ・2017年度作成したガイドブック1,000部を新・農業人フェアや移住フェア等のイベントで配布
 - ・ガイドブックは書店やAmazonで別途1,000部を販売

人づくり	行政							産	学	金	民
地域資源	福	三	尾	府	世	神	笠	井			
行政サービス	◎	○	○	○	○	○	○	○		◎	



看護職員確保対策事業

めざす姿

圏域内の看護職員確保につながる仕組みができ、どこに住んでも医療・介護サービスが受けられる社会

ロードマップ(2016～2019)



概要

- ・高校生などが看護職をめざすきっかけづくり
- ・離職中の看護職員に対する再就職支援セミナーの開催

1 看護職員確保啓発

【目的】

圏域内の高校生を対象とした、看護職の魅力伝えるための冊子及びウェブサイトを作製することで、これから進路を選択する高校生が、看護職を目指すきっかけづくりとする。

【冊子及びウェブサイト掲載内容】

- ・看護職の紹介
 - 例) 仕事内容、資格取得・就職の方法、主な就職先など
- ・圏域で実際に働く看護職員への取材
 - 例) 看護職のやりがい、よかったこと、圏域の働きやすさなど
- ・圏域の魅力
 - 例) 圏域(各市町)内の魅力的なスポットなど

【今後の予定】

- ・2月末：冊子2,100部及びウェブサイト完成
- ・圏域内の高校60箇所に配布

2 看護職員再就職支援セミナー

最近の看護職の働く環境や仕事の説明及び復職経験者との交流会を実施。

日 時：2018年1月22日(月)13:30～15:30
 場 所：福山ニューキャッスルホテル 2階 曙の間
 対象者：備後圏域内の離職中の保健師・助産師・看護師・准看護師
 参加者：14名(内、福山市13名、尾道市1名)

なりたい職業ランキング 1位 保育士
 (高校生女子) 幼稚園の先生
 2位 学校の先生
 3位 看護師

出典：ベネッセ教育総合研究所
 (第2回子ども生活実態基本調査
 報告書[2009年])



【セミナーチラシ】



【セミナー風景】

成果

【看護職員再就職支援セミナー】
 2016年度実施状況
 開催日時：2017年(平成29年)1月25日
 開催場所：福山ニューキャッスルホテル
 参加者数：18名
 復職者数：9名(2018.1.9時点)

課題

- 【看護職員確保啓発冊子の作製】
 - ・配布後の活用方法及び効果等の検証
- 【看護職員再就職支援セミナー】
 - ・離職中の看護師等に向けた情報発信の方法を検討し、参加者数の増加を図る

新年度の取組

- 事業の拡充
 - ・看護職員確保啓発冊子を配布した高校生や医療スタッフ志望の学生等のニーズを把握し、人材の確保策につなげる。

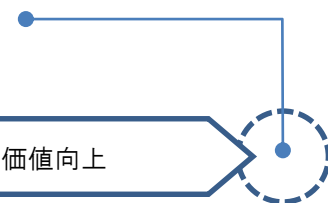
人づくり	行政							産	学	金	民
地域資源	福	三	尾	府	世	神	笠	井			
行政サービス	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	



道の駅等のネットワーク化

めざす姿

道の駅を介して人や商品の流れが活性化するとともに、道の駅が観光資源として活用される



ロードマップ (2016~2019)

ネットワーク化の方向性・事業の検討

情報発信の強化

特産品等の販売促進

道の駅の価値向上

概要

- ・道の駅等の活性化
- ・周辺観光地を含めて周遊するための仕組みづくり

1 情報交換(道の駅等連絡会議)

圏域の道の駅等のネットワーク化を推進するため、駅長と行政で構成する会議を開催。

2017年(平成29年)7月18日(火) 福山市役所本庁舎
[内容] 2017年度(平成29年度)事業計画 など

2 来場者の周遊促進

スイーツめぐりスタンプラリー

地域情報誌と連携してスタンプラリーを開催。

実施期間: 2017年(平成29年)9月30日(土)~12月10日(日)

実施結果: 851枚/30,000枚(応募数/配布数)

(スタンプ別)9個以上246枚 8~5個311枚 4~3個281枚

(年齢別)20代以下155枚, 30~40代273枚,

50代~60代315枚, 70代以上107枚

(男女別)男性344枚, 女性506枚 ※不明は除く



【スタンプラリー】

3 道の駅等の魅力発信

福山市卸町エリアで開催される「STORE HOUSE」への出店

日時: 2017年10月28日(土)~10月29日(日)

場所: STORE HOUSE(福山市卸町エリア)

動員数: 延べ14,000名

出品物: ぶどう, ビンゴソース(アリスト沼隈),

世羅米, 世羅茶(世羅),

青パパイヤ, 柿酢(クロスロードみつぎ) など



【STORE HOUSE】

成果

【周遊促進】

・女性が好むスイーツにスポットをあてたスタンプラリーをWinkと連携し、実施したことで、多くの若年層に道の駅等の魅力を知ってもらえた。

<参考> スタンプラリー応募数

10代女性27枚, 20代女性45枚, 30代女性72枚

【魅力発信】

・若年層が集まるイベントに出店することで、幅広い層に道の駅等の魅力を伝えることができた(出店売上: 448千円)

売上額1位 そばかりんと(星の郷青空市)

2位 洋酒ケーキ(びんご府中)

3位 沼隈ぶどう(アリストぬまくま)

課題

- ・圏域内外への情報発信
- ・若年層の更なる来場促進

新年度の取組

○周遊・販売促進

- ・新たな顧客を獲得する仕掛けを作り、周遊する人の増加につなげる
- ・楽天と連携した道の駅等の商品販売促進
- ・スタンプラリーによる周遊促進

連携協約・圏域ビジョン			2017年度(平成29年度)事業計画	進捗概要 (●実施済・○実施中・△実施予定)	資料2-(7)
分野	施策名	事業名・事業概要			
1 圏域全体の経済成長のけん引	(1) 圏域全体の産業振興の仕組みづくり	ア 成長戦略のフォローアップ	成長戦略の進行管理、「びんご圏域活性化戦略会議」の運営、事業の評価と見直し等を行う。	○びんご圏域ビジョンの進行管理・更新(連携協議会、戦略会議の開催) ○第1回連携中枢都市連絡会議(開催地:福山市、主催:総)	○連携協議会の開催…第1回(4/8:福山市)、第2回(5/30:福山市)、第3回(9/27:笠岡市)、第4回(2/5:福山市) ○戦略会議の開催…第1回(7/6)、第2回(11/2)、第3回(2/8) ●第1回連携中枢都市連絡会議の開催(9/15 福山市開催/総務省主催) ○連携事業の効果検証のための調査、分析、評価等の実施 ・住民及び事業者アンケートの実施(8/3~8/22)、新年度事業の再構築(9月~10月)、びんご圏域ビジョンの更新(3月)
		イ 備後圏域産業連関表の作成・活用	圏域全体の産業振興に資する備後圏域産業連関表を作成し、活用する。	○備後圏域産業連関表の活用(経済波及効果算出システム活用推進事業)	○他都市産業ビジョンの事例収集 △域内経済の現状把握ツールとして活用(9月末に福山市立大学都市経営学部に着任した講師と連携)
		ウ 産業支援拠点機能の充実	産学金官が連携し、企業の経営革新、技術革新、人材育成等、圏域における産業振興に必要な拠点機能の充実に取り組む。	○産業支援拠点「福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz」の運営 ○ものづくり人材の育成支援 ・各団体が行う人材育成に関するセミナーなどを「ものづくり大学」として一元的に実施 ・びんご産業支援サイトの運用 ○起業化促進支援拠点運営事業《三原市》	○産業支援拠点「福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz」の運営(売上向上、創業支援に重点をおいた経営相談) ○ものづくり大学の実施 ・各機関で独立して行われている人材育成に関するセミナーや講演会などの実施 ・最先端技術セミナーの実施(4月~12月末 計11回/1,990人参加) ・啓発事業の実施(4月~12月末 計8回/12,074人参加) ・ポリテクカレッジ福山と連携した実技セミナーの実施(4月~12月末 計24回/172人参加) ○びんご産業支援サイトの運用(関連団体のセミナー情報掲載によるサイトの充実)(4月~12月末 アクセス数4,931件) ○ワンストップ相談窓口(支援拠点)「みはら創業応援隊」の運営
	(2) 中小企業事業者等への支援	ア 中小企業事業者のイノベーション等の推進	異分野異業種の合同研修や中小企業の経営改善、大学又は様々な業種とのマッチング等を進めるびんご産業支援コーディネーターの育成や活動支援等に取り組む。	○びんご産業支援コーディネーター派遣事業の実施	○びんご産業支援コーディネーターの派遣(72回[福山市62回 三原市3回 尾道市1回 府中市2回 神石高原町4回]12月末時点) △びんご産業支援コーディネーター会議・研修の開催(2月~3月)
		イ 女性の創業支援	産学金官で連携することにより、女性が働きやすく、創業できる環境整備に取り組む。	○備後圏域女性活躍推進 ・駅前女子カフェ開設及び運営 ・女性の活躍ポータルサイトの開設及び運営 ・イーコマース(EC)講座	○LADY WORK CAFEの開設及び運営(5/22開設)【登録者:389人(12月末現在)】 ・各種セミナー・相談会等を実施(11月末時点) 就職面接無料トレーニング(第1回5/27 1人、第2回5/28 3人)の開催【参加者:計4人】 働く女性や起業家と学生の交流イベント(TREEコラボ)の開催(6/18)【参加者:7人】 地元企業とコラボイベント☆LADY WORK CAFE×虎屋本舗(6/30)【参加者:9人】 LADY WORK TALK(㈱キャスト 8/1【参加者:5人】)(㈱広島銀行 11/8【参加者:8人】)(㈱エブライ 11/14【参加者:6人】) ハローワークと連携イベント(8/23【参加者:5人】)、ジョブサポート相談会(10/11,10/25【参加者:計4人】)の開催 キャリア相談(第1回9/23 1人、第2回9/30 1人)【参加者:計2人】 ○BINGO WOMANの開設及び運営(4/28開設 企業等の紹介やイベント・セミナー情報を発信)【アクセス数:17,727件(12月末現在)】
		ウ 地域の産業集積による競争力向上	圏域の企業が、ものづくり技術を活用し、ご長寿産業等の新たな分野への参入や新たな製品開発に取り組むことができるよう支援する。	○ものづくりワーキングの開催 ○ビジネス交流フェアの開催 ○デニムプロジェクト(デニム生地PRの強化)の実施 ○地場産業振興センター人材育成事業の実施《井原市》	●ものづくりワーキングの開催(7/28) ○デニム産地としてのPR活動 ・デニム事業者との連携体制の構築、PRの方向性の検討 ・デニム産地であることのPR(HP(9月~公開)、フォトコンテスト(10/3~12/28募集)、バスツアー(2/22,3/16)など) ●地場産業振興センター人材育成事業 ・織物設計・分解研修会(10月~12月 計10回)
	(3) 第一次産業の活性化	ア 6次産業化の推進	圏域内の地域資源を活用した農林水産業の新たな付加価値の創出を図る6次産業化を推進することで、雇用創出や地域経済の活性化に取り組む。	○備後圏域6次産業化ネットワーク会議の開催 ・具体的な方向性及び取組内容について分野別に検討(農業・林業・水産業) ○6次産業化の推進 ・販路開拓推進・6次産業化促進事業の実施 ・備後圏域ワインプロジェクトの実施	○備後圏域6次産業化ネットワーク会議の開催(5/8,11/22) ・農業部会(8/29)、林業部会(8/28,12/20)、水産部会(5/12,7/10) ○販路開拓推進業務等 ・首都圏におけるびんご産品販路開拓 備後圏域マーケティング力強化セミナー(6/2)【参加者:37人】、個別相談会(10社)(7/26,2月) ブラッシュアップ(2社)(7/25,8/17,9/26,10/20,2月)、商談会(11/10(商談先3社)) びんごフェア(1/31~2/13,東京都 9事業者) ・備後圏域6次産業化推進・設備整備等事業(4/14~5/15募集[申請2件/採択2件]、7/3~随時募集[申請1件/採択1件]) ・びんご6次産業化アドバイザー派遣(12件[福山市6 尾道市3 世羅町1 神石高原町1 井原市1]12月末時点) ○備後圏域ワインプロジェクトの実施 ・ワインアカデミーの開催(12/27) ・ワインPR(5/27,28 BINGOフェスティバル~三原市~への出店等) ・ワイン列車の実施(3/24)
		イ 第一次産業振興のための環境整備	第一次産業の担い手の確保や生産基盤の整備等に取り組むとともに、地域間連携・異業種間連携による瀬戸内の小魚の地域ブランド化等を推進する。	○水産物のブランド化の推進 ○農業の魅力創出・発信事業 ・担い手発掘事業の実施 ・農業体験の実施《世羅町》	○水産物のブランド化 ・「備後フィッシュ」PR活動 備後の地魚応援団(道の駅等)によるのぼり旗を使ったPR 料理教室の実施(6/17 緑丘公民館(参加者:12人)、8/19 うつみ市民交流センター(参加者:13人)、9/16 旭公民館(参加者:12人)、12/9 うつみ市民交流センター(参加者:10人)、2/18 福山ガスプラザ、3月) 既存イベントへの出店(5/27 BINGOフェスティバル~三原市~、10/28,29 福山市園芸祭、11/18,19 尾道市水産まつり、11/19 ふくやま卸売市場ふれあい祭、1/28 笠岡市かきフェスティバル 計5回) ・(再掲)備後フィッシュフェスの開催(9/30) ○担い手発掘事業 ・新・農業人フェアへの出展(1/27大阪、2/10東京) ・移住定住フェア等と連携したPR(7/29東京、9/10東京、1/27東京) ・農作物の紹介や農業体験等の紹介を行う情報発信媒体の作成(8/24契約締結、2018年度~配布) ●せら農業体験の実施(7/22,23夏体験(中止)、9/30,10/1秋体験 参加者1人)
		ウ 雇用対策	圏域内の市町が連携し、若者や女性、高齢者、障がい者の就労支援等、雇用の促進に取り組む。	○U・Iターン就職・総合相談会の開催 ○学生の地元定着支援の実施 ○圏域外の学生と備後圏域企業の交流会の開催 ○障がい者の就労支援 ○都市圏からの人材呼び戻し事業《三原市》	●U・Iターン就職・総合就職相談会の実施(8/10)【参加企業:110社 求職者:77人】 ●U・Iターン就職・家族相談会の実施(7/14【参加:4組】、12/15【参加:4組】) ○地元企業の取組や特性を知る機会について、大学と連携して企画・実施 ・若手社員と学生の交流会(2月)、大学生による企業取材の実施(8月~11月 取材先5社(学生6人で取材)) △圏域外の大学生と備後圏域企業の交流会(2/9) ○障がい者の雇用対策(福祉的就労) ・ネットワーク会議の開催(6/20) ・事業所への就労支援(7月から随時対応) ○都市圏からの人材呼び戻し事業 ・企業採用担当者向け研修会の開催(1/11) ・都市圏での合同企業説明会への参加支援(3月)
	(4) 戦略的な観光振興	ア 戦略的な観光振興	圏域内の観光資源を見つめ直すことで、圏域全体の魅力に磨きをかけ、圏域外からも多くの観光客を引き付ける取組を推進する。	○広域観光ワーキングの開催 ○広域連携による観光施策の推進 ○まちぐるみ・まちグルメの開催《府中市》	○広域観光ワーキングの開催(5/31,2月~3月) ○広域観光ルートの商品化に結びつけるプロモーションの実施(8/22プレゼン、8/29契約締結、9/1~業務委託) ○美びんごフォトコンテスト2017の実施(10/24~3/4募集) ●まちぐるみ・まちグルメ「備後府中食博29」の開催(11/5)

2017年度(平成29年度)備後圏域連携中枢都市圏 連携事業一覧表 進捗概要

連携協約・圏域ビジョン			2017年度(平成29年度)事業計画	進捗概要 (●実施済・○実施中・△実施予定)	資料2-(7)
分野	施策名	事業名・事業概要			
2 高次の都市機能の集積・強化	(1) 高度医療の充実や強化	ア 高度な医療サービスの提供	圏域における安心・安全な医療提供体制の確立をめざし、医療連携の促進と圏域全体の医療の質の向上に取り組む。	○医療連携準備会議の開催(広島県、岡山県の医療連携の促進) ○看護職員確保対策事業 ・看護職員再就職支援セミナーの開催 ・看護職員啓発事業の実施 ○看護職員養成のための補助 ○高度医療機器の整備 ○こども発達支援センターの施設管理等	△医療連携準備会議の開催(1月) ●県境会議の再開(7/25) (9/4小児救急医療体制検討部会, 9/5周産期医療体制検討部会, 9/6救急医療・MC体制検討部会) ○看護職員確保対策事業 ・看護職員再就職支援セミナーの開催(1/22) ・看護職の魅力と備後圏域で働くことを伝える冊子の作製(3月 配付先:備後圏域内各高校) △看護職員養成施設への運営費の補助(年度末に交付) ○こども発達支援センターの施設管理等(福山市)
	(2) 広域的な都市基盤の整備	ア 広域的な都市基盤の整備	備後圏域の将来の発展を見据え、公共交通網の整備等、圏域全体の住民の利便性の向上や企業の拠点強化につながる都市基盤の整備に取り組む。	○立地適正化計画に係る意見交換会の開催 ○公共施設の広域的な管理・運用等に関する情報交換 ○地域公共交通再編実施計画の策定	△立地適正化計画等連絡調整会議の開催(2月~3月) ●公共施設の広域的な管理・運用等に関する関係課長会議の開催(8/29) ○地域公共交通再編実施計画策定(7月~業務委託) ・福山・笠岡地域公共交通活性化協議会の開催(7/6, 3月) ・地域公共交通の利用を促進するための施策の実施(公共交通マップの作成)
	(3) 高等教育機能の充実や強化	ア 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実	大学や研究機関、企業等と連携し、圏域のシンクタンク機能を高めることで、幅広い分野で備後圏域の発展を支える人材の育成に取り組む。	○高度人材育成ワーキングの開催 ○圏域内の大学等の公開講座を一元的に情報発信(6大学等 エクステンション連携会議) ○グローバル人材育成事業の実施(グローバル人材育成事業実施協議会)	●高度人材育成ワーキングの開催(8/31) ○6大学等エクステンション連携会議の開催(5/13, 8/29, 12/19) [参加大学]尾道市立大学, 県立広島大学, 福山大学, 福山平成大学, 福山職業能力開発短期大学校, 福山市立大学 ・特別企画「6大学エクステンション連携講座」の開催(5/13笠岡市民会館)びんご圏域6大学の2016年度人気講座紹介 ・6大学連携講座の開催(チラシ・ポスターによる情報発信 vol.3 6-8月講座, vol.4 9-2月講座) ○グローバル人材育成事業実施協議会の開催(4/27, 9/30, 3月) [参加大学]尾道市立大学, 福山大学, 福山平成大学, 福山市立大学 ・びんご圏域連携グローバル人材育成事業の実施 講義(9/30~11/18 全15回 参加者:45人) 海外研修(12月 東南アジア 参加者:13人)
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 医療や福祉サービスの充実	ア 地域医療の充実	地域医療の充実を図るため、各医療機関のネットワークの強化や機能に応じた役割分担、救急医療体制等の連携強化を促進する。	○夜間成人診療所の運営 ○公立病院等の連携促進(びんご圏域公立病院等連絡会議) ・医療スタッフの合同研修、診療材料の共同購入の検討	○夜間成人診療所の運営 ○びんご圏域公立病院等連絡会議の開催(5/2, 8/30, 2/21) ○圏域内公立病院等の担当部署と連携し、医療スタッフの知識や技術の標準化及び向上を図るための合同研修を実施(がん化学療法[6/1【参加者:17人】、10/4【参加者:23人】、2/14]) (感染管理[6/30【参加者:6人】、9/29【参加者:7人】、11/24【参加者:7人】、1/29]) ○診療材料等共同購入検討会議の開催(7/4, 5, 1/12, 1/26) ○福山市民病院からの診療支援の実施 [支援先]総合病院三原赤十字病院(循環器内科1人), 尾道市立市民病院(内科1人), 府中市民病院(循環器内科1人), 神石高原町立病院(内科1人, 外科1人), 井原市立井原市民病院(循環器内科1人)
	イ 高齢者や障がい者等の福祉の充実	高齢者や障がいのある人等が、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができる環境整備を推進する。	○高齢者ワーキングの開催 ○社会福祉法人・社会福祉事業等の適正運営とサービスの質の向上 ○地域包括ケアシステムの構築 ・チャレンジフォーラムの開催《尾道市》 ・備後圏域地域包括ケア資源マップ運用・保守 ・市民後見人の養成 など	○連絡調整会議及び高齢者ワーキングの開催(5/29, 7/21, 10/17, 12/26, 3月) ○地域包括ケアシステムの構築 ・認知症対策の推進(1/27 認知症普及啓発講演会) ・高齢者虐待対策の推進(2/6 高齢者虐待防止講演会) ・安全な地域づくりのネットワーク化(広域化)(4月~ 連携中枢都市圏で定期的な会議等実施) 多様な主体による高齢者の見守り体制の構築、高齢者徘徊SOSネットワークの広域化等の実施(2018年度~) ・地域包括ケアシステムの普及啓発(3/3 チャレンジフォーラム 尾道市開催) ・備後圏域地域包括ケア資源マップ運用・保守(システムへの情報追加) ・成年後見制度講演会の実施(10/28 参加者:83人) ○社会福祉法人・社会福祉事業等の適正運営とサービスの質の向上 ・有料老人ホーム等集団指導(3/20) ・感染症予防研修(9/29 参加:428事業所) ・介護保険事業者集団指導(3/16) ●高齢者・子ども等の見守り体制の充実(4/6 日本郵便株式会社中国支社との地域における協力に関する協定)	
	ウ 子育て支援の充実	産前産後の母子を支援する取組や発達に課題のある子どもへの支援等に取り組む。圏域における子育て支援サービスの向上に向けた環境整備を進める。	○発達障がい児支援に関する研究会の実施 ○子どもの発達支援の研究(備後圏域発達支援研究会) ○産後ケア事業の実施 ○こども発達支援センター関係市町連絡会議の開催(こども発達支援センターの共同運営)	●子育て応援センター「ことばの相談室」における障がい児保育・特別支援教育の研修(6/1 参加者:193人, 8/10 参加者:218人, 10/26 参加者:92人) ○備後圏域発達支援研究会の開催(5/8, 8/30, 2/20) [参加大学]県立広島大学, 福山大学, 福山市立大学 ・発達支援に係る講座の開催(10月~)や実態把握の調査・分析(6月~) ○こども発達支援センター関係市町連絡会議幹事会の開催(共同運営に関する協議)(8/31, 2月) ●こども発達支援ネットワーク協議会の開催(11/9) ・相談や診察、訓練などの医療的支援の実施【センター利用延件数2,836件(4月~12月)】 ○産後ケア事業の実施 ・産後ケア事業及び産後ヘルパー事業の広域的な実施に向けた検討	
エ 健康づくりの推進	健康寿命の延伸や広域的な健康づくり等に取り組む。	○健康ワーキングの開催(圏域住民の健康づくりに係る職員間の情報交換) ○圏域住民の健康づくりに係るボランティアの共同育成と広域的な活動の研究	○健康ワーキングの開催 ・「産前・産後のケア体制の整備」をテーマとするワーキング(8/16) ・「ボランティアの共同育成と広域的な活動の促進」をテーマとするワーキング(10/25, 2月) ○ボランティアの共同育成と広域的な活動の推進 ・他市町担当職員との意見交換会の開催(10/25) ・ボランティア相互の情報交換会の開催(食:12/19 運動:2月)		

2017年度(平成29年度)備後圏域連携中枢都市圏 連携事業一覧表 進捗概要

連携協約・圏域ビジョン			2017年度(平成29年度)事業計画	進捗概要 (●実施済・○実施中・△実施予定)	資料2-(7)
分野	施策名	事業名・事業概要			
(2)	広域化による住民サービスの向上	ア 災害に関する安心・安全の確保	圏域における「災害時の相互応援に関する協定書」に基づき、広域的な連携による復旧支援等、圏域住民の安心・安全の確保に取り組む。	○地域防災を担う人材の育成(防災士養成講座) ○備蓄物資の整備	●防災士養成講座を兼ねた福山防災大学を開講(第1回 9/10〔受講者:98人〕、第2回 10/8(受講者:91人)、第3回 11/5(受講者:95人) 95人修了) ○防災リーダーの活用(防災リーダーの防災講座等への講師派遣)【件数:55回(12月末現在)】 △災害時の備蓄物資の状況を共有
		イ 環境に配慮した循環型社会の構築	環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会を構築するための広域的な取組等、地球にやさしい環境づくりを推進する。	○ベスト運動の圏域内への周知活動	○ベスト運動の会員増に向けた圏域の市町連携によるPR強化(イベントでの周知など) ・各市町所在の企業情報の取得について連携し、企業への啓発・協賛依頼を実施(協力及び協賛企業数:68社) ○学校TFP(福山市が取り組んでいる事業を紹介し、連携可能な事業を検討する。)(実施校:駅家西小)
		ウ 行政サービスの向上	共同利用可能な情報システムの整備に向けた調査・研究等を行うとともに、地域の課題解決や新たな価値の創出に資する情報を公開するための仕組みづくりに取り組む。	○自治体クラウドの推進 ○備後圏域の情報発信強化 ○備後圏域消費者行政連携事業の実施	○情報システム部会の開催(7/20, 10/25, 2/2) ●自治体クラウドの推進 ・自治体クラウドを専門とする講師を招いた研修会の開催(10/25 参加者15人 開催場所 神石高原町役場) ○各市町の広報紙等を活用した備後圏域の情報発信 ・各市町広報への備後圏域連携事業の掲載(4月~) ・広報活動(テレビ放送等)の実施(各市町にて放映) △備後圏域広報担当者会議の開催 ○図書等の個人貸出の相互利用(備後圏域全市町対応) ●消費者行政連携会議の開催(8/8) ○備後圏域消費者行政連携事業 ・債務関連相談の実施(毎月第2木曜日開催(5月, 10月は除く。))第1回4/13, 第2回6/8, 第3回7/13, 第4回8/10, 第5回9/14, 第6回11/9, 第7回12/14, 第8回1/11) ・消費生活相談員の資質向上の研修会(奇数月開催 第1回5/17, 第2回7/19, 第3回9/26, 第4回11/15, 第5回1/17)
(3)	地域活性化の推進	ア 農林水産物を活用した地域活性化	圏域内の農林水産物を地域の産直市や学校給食等に活用することで、安心・安全な食の確保、地産地消・食育等の推進に取り組むとともに、道の駅等を活用した地域活性化に取り組む。	○道の駅等のネットワーク化による地域活性化の推進 ・スタンプラリー ・若者向けイベントへの出店 ○備後圏域PR事業~BINGOフェスティバル~《三原市》 ○備後フィッシュフェス ○尾道スイーツコンテスト《尾道市》 ○水産まつり《尾道市》	○道の駅等のネットワーク化 ・道の駅等連絡会議の開催(7/18, 3月) ・備後圏域「道の駅」スタンプラリーの開催(9/30~12/10) ・福山市卸町エリアで開催される「STORE HOUSE」への出店(10/28, 29) ○BINGOフェスティバル(5/27, 28 三原市開催:三原さつき祭りと連携して実施)(3/21 東京開催) ●備後フィッシュフェスの開催(9/30 来場者約4,000人 開催場所 福山市役所南広場) △尾道スイーツコンテストの開催(2/4まちかど審査 2/18プロ審査 圏域内の菓子類等の製造・販売事業者対象) ●水産まつりの開催(11/18, 19)
		イ 公共交通体系とデマンド交通の検討	住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通体系と圏域の市町のデマンド交通の在り方の研究に取り組む。	○地方鉄道の維持, 振興(福塩線, 井原線)	●福塩線対策協議会総会の開催(5/26) ○福塩線利用促進事業(写真コンテスト(9/1~12/25募集), 福塩線音頭てめぐい作成, 乗車料補助)等の実施 ●井原線振興対策協議会総会の開催(5/10) ○井原線利用促進事業(乗車料補助)等の実施
		ウ 大学を活用した地域活性化	圏域内の大学等と協力し、地域課題の解決やにぎわいの創出に向けた事業について研究を行う。	○(再掲)圏域内の大学等の公開講座を一元的に情報発信(6大学エクステンション連携会議)	(再掲)6大学等エクステンション連携会議の開催(5/13, 8/29, 11月, 2月) (再掲)特別企画「6大学エクステンション連携講座」の開催(5/13笠岡市民会館)びんご圏域6大学の2016年度人気講座紹介 (再掲)6大学連携講座の開催(チラシ・ポスターによる情報発信 vol.3 6-8月講座, vol.4 9-2月講座)
(4)	定住促進	ア 備後圏域定住促進事業	圏域外からの住民の移住を促進するため、UIJターンの希望者に対するPR活動を始め、学生を対象としたインターンシップの実施等に取り組む。	○移住・定住ワーキングの開催 ○備後圏域定住促進事業 ・ふるさと回帰フェアへの出店 ・移住体験ツアーの実施 ・地域おこし協力隊の連携 ・定住パンフレットの作成《神石高原町》 ・婚活イベントの実施《神石高原町》 ○備後圏域プロモーション事業	○移住・定住ワーキングの開催(6/27, 10/3) ○備後圏域定住促進事業 ・ふるさと回帰フェアへの出展(9/10), ひろびろ広島くらしフェア2017〔広島県東部地域(びんご圏域)〕への協力(1/27) ・移住体験ツアーの実施(12/2, 3 参加者:4組7人) ・地域おこし協力隊の合同研修会(1/18), 備後圏域「地域おこし協力隊」担当者会議の開催(6/27 福山市開催) ・定住パンフレットの作成 ・婚活イベントの実施(7/22) 【7/22 男性参加者13人(神石高原町4人 福山市3人 府中市1人 井原市1人 その他4人)】 【7/22 女性参加者8人(神石高原町3人 福山市1人 井原市1人 その他3人)】 ○備後圏域ウェブサイト「びんごライフ」を活用した、圏域外に進学した学生のUターン促進
(5)	圏域マネジメント能力の強化	ア 人材の育成と人材ネットワークの構築	生涯学習等を通じて、地域の課題解決や魅力発信につながる人づくり・地域づくりを推進する。 自治体職員については、合同研修や交流により資質の向上に取り組む。	○職員を対象とした合同研修会の開催 ○人材ネットワークの広域活用	●備後圏域市町職員人材育成連絡会議(8/18 福山市開催) △管理者研修の開催 ●生涯学習担当者会議の開催(6/20) ○びんご人材ネットワーク「まなびんご」の開始(広域活用)(7月~(講師83人(10/1現在)))